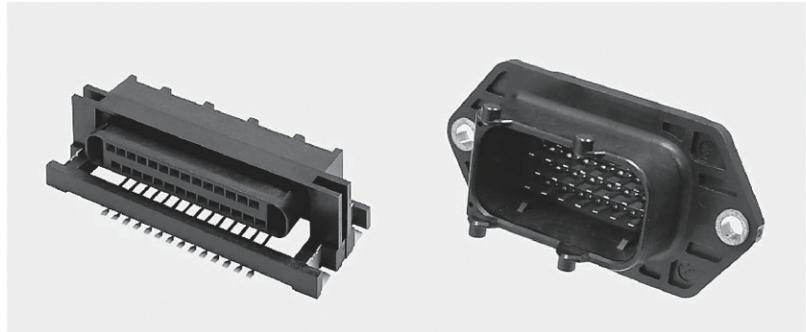


2025年(令和7年)9月1日(月曜日)



Unit-ableコンセプト

近年、車両の機能が高度化する中で、自動車メーカー各社は、さまざまな機能を持つ車載機器を搭載し、過酷な環境下でも多様なシステムを電子的に管理・制御する必要性が高まっています。しかし、従来の車載機器では、エンジニアリングユーザーごとに異なるワイヤーハーネスの形状に対応するため、同じ機能を持つ場合でもインターフェース部分の設計変更が頻繁に求められていた。

同社が提案するU-n

Unit-ableコンセプトでは、車載機器で車両の機能を電子的に管理・制御する必要性が高まっています。しかし、従来の車載機器では、エンジニアリングユーザーごとに異なるワイヤーハーネスの形状に対応するため、同じ機能を持つ場合でもインターフェース部分の設計変更が頻繁に求められていた。

耐振動コネクター

また、同社独自の耐振動コネクター技術「Z-Move」技術による振動の影響を効果的に吸収する。さらに、シーリングパッキンによる防水対策も洗車時の水、泥水などが機器内へ侵入するこ

とを防ぐ必要があるエンジン周辺のパワートレイン機器にも適した設計となっている。

同製品は、2025年下期の量産開始をめどに、生産準備を進めている。

同コンセプトの主な特徴は、インターフェース部分のみをカスタマイズすることで幅広い顧客ニーズに柔軟かつ効率的に対応できる革新的なアプローチを実現している。

カスタマイズに対応、設計工数を削減

次世代Fソリューションパワートレイン向けに提案

境下でも使用可能。基板の位置ズレを吸収するフローティング構造ではんだ付け部のストレスを軽減。位置点接点機能により接触信頼性を向上し、機器の冗長設計をサポートする。

電波新聞